

2024年10月16日  
株式会社ワールドアイシティ

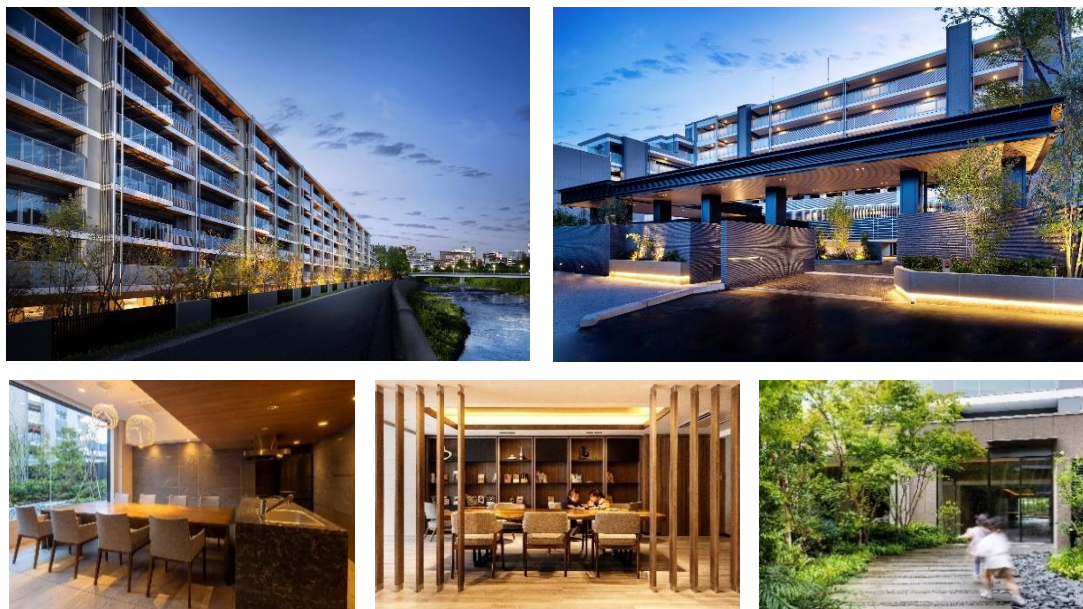
## 「レジデンシャル青葉広瀬川」が 「2024年度グッドデザイン賞」を受賞しました

株式会社ワールドアイシティと三菱地所レジデンス株式会社の共同事業による分譲集合住宅「レジデンシャル青葉広瀬川」（宮城県仙台市青葉区）が、公益財団法人日本デザイン振興会主催「2024年度グッドデザイン賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。当社では初の受賞となりました。

「レジデンシャル青葉広瀬川」は、仙台市の都心にありながら広瀬川や青葉山の豊かな自然を身近に享受できる集合住宅として、東北初の公団住宅であった仙台花壇団地跡地の開発を行い、都心の快適さと雄大な自然が調和するライフスタイルを提案いたしました。

ワールドアイシティは、「人と文化が集うまちづくり」によってこれからも地域に貢献し、お客様のニーズに沿った商品やサービスを提供してまいります。

以上



左上／リバーサイドヴィラ外観 右上／エントランスゲート

左下／パーティールーム 中下／ライブラリーラウンジ、既存樹を再利用した共用部テーブル 右下／ガーデンズプラザ

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ワールドアイシティ 営業推進部／菅原 TEL 022-212-1410

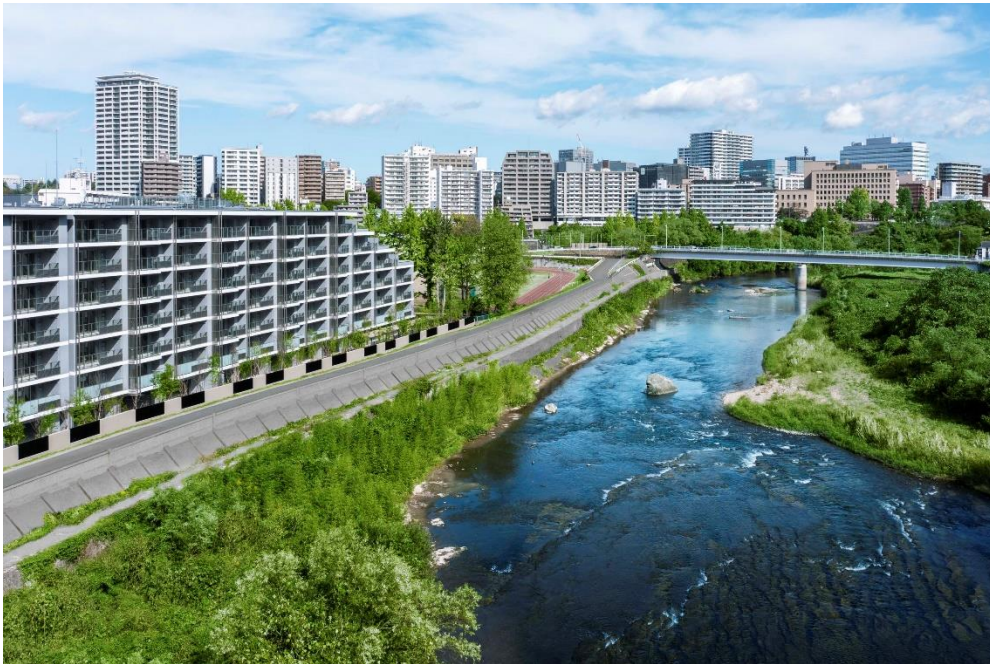
## ■「レジデンシャル青葉広瀬川」概要

本物件は、仙台市の都心に位置しながら豊かな自然を享受できるエリアに立地する7階建、全203邸の分譲マンションです。配棟は広瀬川を眼下に臨む「リバーサイドヴィラ」、青葉山の四季を感じられる「クレセントヴィラ」、既存樹を活かした様々な植栽に囲まれた「ガーデンズプラザ（中庭）」に面する「ゲートヴィラ」の3棟で構成。各ヴィラで魅力的な眺望が愉しめます。

「リバーサイドヴィラ」には奥行き 2.85mの「オープンエアテラス」を採用。川沿いの豊かな環境を生活の一部に取り込み、従来のバルコニーとは違う新しいスタイルを提案いたしました。

建設地付近は伊達政宗公とゆかりのある「花壇屋敷」があったとされ、400年余の仙台の歴史との結びつきや自然との調和も大切にしています。グランドエントランスやエレベーターホールには仙台市近郊の大蔵山で採掘される「伊達冠石」の<sup>だて かんむりいし</sup>アートを施し、共用部テーブルや各階エレベーターホールのサインパネルは既存樹のケヤキを再利用して制作しています。

自然と歴史を継承し、時を超えて永く愛される集合住宅を目指し多くの関係者と共に丁寧に作り上げました。



ガーデンズプラザ



奥行き 2.85mのオープンエアテラス



敷地配置図



オープンエアテラス概念図

## ■物件概要

- ・所在地：宮城県仙台市青葉区花壇 75 番 1 号
- ・交通：仙台市地下鉄東西線「大町西公園」駅 徒歩 9 分
- ・構造・階数：鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造 地上 7 階建
- ・総戸数：203 戸
- ・敷地面積：9,487.72 m<sup>2</sup>
- ・建築面積：4,439.82 m<sup>2</sup>
- ・延床面積：20,866.60 m<sup>2</sup>
- ・事業主：株式会社ワールドアイシティ  
三菱地所レジデンス株式会社
- ・設計・監理：[基本設計・デザイン監修]株式会社プランテック  
[実施設計・監理]株式会社創建設計
- ・施工：松井建設株式会社東北支店
- ・竣工：2023 年 8 月 29 日

## ■審査員からの評価コメント

集合住宅のバルコニーを、室外機置場や物干し場としてではなく「居場所」として位置付け、深い奥行きを確保した点が高く評価できる。また、その奥行きを変化させることにより、外観にリズムが生まれ、板状集合住宅にありがちな単調な立面を回避している点も優れている。さらに、広瀬川や青葉山城址といった周辺環境に呼応した配置計画にも好感が持てる。エントランスホールや共用ラウンジといった内部空間も丁寧にデザインされており、全体として質の高い集合住宅となっている。

## ■グッドデザイン賞とは

1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

